

目標 1

一人ひとりを大切に
やさしいまち

目標 2

豊かな自然と共生する
安心なまち

目標 3

ひとが集いにぎわいと
活力を生むまち

目標 4

豊かなひとを育むまち

目標 5

ともに歩み、
築く協働のまち

目標 2 豊かな自然と共生する安心なまち

都市空間

① 土地利用

都市基盤

① 道路

② 港湾・漁港

③ 公共交通

④ 通信

生活安全

① 防災・減災

② 消防

③ 生活安全

環境

① 自然環境、景観形成

② 生活環境

③ 資源循環

生活基盤

① 住宅・宅地

② 上水道

③ 生活排水処理

④ 火葬場・墓地



都市空間

① 土地利用

現状と課題

豊かなオホーツク海に面し、網走湖、能取湖のほか、ラムサール条約登録湿地「瀧沸湖（とうふつこ）」をはじめ大小5つの湖沼、名勝・天都山、広大な農地、森林など、自然豊かなまち並みを形成しています。

将来にわたり、優れた自然環境の保全と市民が暮らしやすいまちづくりの両立を目指して、市街地における適切なエリアの配置とともに「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」を基本に土地利用等を進めていくことが求められます。

基本方針

秩序ある土地利用を推進し、豊かな自然環境に包まれた美しいまちを目指します。

施策の展開

施策の区分	施策の内容
①総合的な土地利用	■ 均衡のとれた秩序ある土地利用の推進 ■ 地域にあった土地利用の規制、誘導
②市街地の土地利用	■ コンパクトなまちづくりの推進 ■ 活力のある市街地の形成
③水辺の環境軸づくり	■ 水辺空間を活用した土地利用の推進 ■ 海岸、河川、湖畔などの保全、維持管理
④森の環境軸づくり	■ 森林の保全、適正な維持管理
⑤まちの緑の環境づくり	■ まちの緑化の適正な維持管理 ■ 公園、緑地の管理体制の充実

関連する個別計画

- 網走市都市計画マスタープラン
- 網走市景観と緑の基本計画
- 網走市公共施設等総合管理計画
- 網走市環境基本計画

ラムサール条約 ----- 締約国には、国際的に重要な湿地を登録するほか、登録地の保全、国内湿地の適正利用促進計画の作成や国際協力の推進などが求められます。

コンパクトシティ・プラス・ネットワーク ----- 医療・福祉・商業等の生活機能を確認し、誰もが安心して暮らせる、地域公共交通と連携したコンパクトなまちづくり

都市基盤

① 道路

現状と課題

国道、道道、市道で形成される道路網は、市民の生活をはじめ、産業や観光を支える、また、近年多発する集中豪雨や暴風雪などの自然災害のほか、火災などから市民の生命や財産を守る重要な基盤です。

一方で、老朽化する現状の道路、橋梁を安全に維持するためには、コンパクトシティの理念を基本に可能な限りの長寿命化が求められています。

点検の強化などにより劣化状況の把握に努め、災害や交通事故の危険性なども考慮した計画的な対応により、安全で安心な道路環境の維持、改善が求められています。

基本方針

戦略的な道路整備により、市民生活や基幹産業を支える、安全・安心なまちを目指します。

施策の展開

施策の区分	施策の内容
①円滑な都市活動を支える 骨格道路づくり	▪ 道路交通ネットワークの充実 ▪ 幹線道路の整備 ▪ 生活道路の充実 ▪ 北海道横断自動車道網走線の整備要望
②安全・安心な道路づくり	▪ 安全に配慮した道路整備 ▪ 適切な維持管理、長寿命化の推進 ▪ 安全管理体制の充実
③歩行者にやさしい道路づくり	▪ 安全な歩道の確保 ▪ 通学路の整備、維持管理

関連する個別計画

- 網走市都市計画マスタープラン
- 網走市公共施設等総合管理計画

コンパクトシティー 都市の中心部に行政、商業、住宅などの都市機能を集積することなどによって、市街地の活性化や住民の利便性を向上させようとする考え方

目標 1

一人ひとりを大切に
やさしいまち

目標 2

豊かな自然と共生する
安心なまち

目標 3

ひとが集いにぎわいと
活力を生むまち

目標 4

豊かなひとを育むまち

目標 5

ともに歩み、
築く協働のまち

目標1
一人ひとりを大切にする
やさしいまち

目標2
豊かな自然と共生する
安心なまち

目標3
ひとが集いにぎわいと
活力を生むまち

目標4
豊かなひとを育むまち

目標5
ともに歩み、
築く協働のまち

都市基盤 ② 港湾・漁港

現状と課題

重要港湾・網走港では、取り扱い貨物量の減少から、新たな取り扱い貨物の開拓や大型客船の誘致のほか、企業誘致により港湾の物流機能の強化を図るとともに、漁港区においては、水産物の物流拠点として機能の充実や環境整備が求められています。

また、川筋地区・モヨロ地区では、良好なウォーターフロント空間を活かした観光交流拠点として、にぎわいの創出や交流人口の拡大が求められています。

漁港については、水産物の物流拠点として機能の充実や環境整備が求められています。

一方で、老朽化する施設を安全に維持するためには、点検の強化などにより劣化状況の把握に努め、災害なども考慮した計画的な対応により、安全で安心な港湾、漁港の整備が求められています。

基本方針

各港の環境整備や機能の向上により、北網圏の産業、生活を支える、安全・安心でにぎわいのある港づくりを目指します。

施策の展開

施策の区分	施策の内容
①安全・安心な港づくり	▪ 港湾の利用促進 ▪ 港湾施設の適切な維持管理 ▪ 港湾施設の防犯保安対策の強化 ▪ ポートセールスの推進
②漁港の整備、機能の向上	▪ 漁港の機能強化 ▪ 漁港施設の適切な維持管理

関連する個別計画

- 網走港港湾計画
- 網走市公共施設等総合管理計画

ウォーターフロント空間 – 水辺、水際の空間。特に都市生活者のうれしい空間として整備されたもの

都市基盤

③ 公共交通

現状と課題

誰もが安全・安心で便利に暮らすことのできる生活空間を形成するため、鉄道やバスなどの公共交通機関の適正な体制が求められており、公共交通の空白地域における対応も含め、持続可能な公共交通網の形成が必要となっています。

特に鉄道については、JR 北海道では、石北本線、釧網本線、共に単独では維持困難な線区としており、鉄道の維持、存続に向けた取り組みが重要です。

また、女満別空港においては、道内7港の一括民間委託が進められる中、より一層の利用促進が求められています。

基本方針

市民や網走を訪れる方のニーズに即した効率的な公共交通の提供を図り、安全・安心で利便性の高いまちを目指します。

施策の展開

施策の区分	施策の内容
①総合的な公共交通網の構築	持続可能な公共交通体系の検討、構築
②鉄道の維持、利用促進	- 鉄道利用の促進 - 鉄道の維持、存続に向けた取り組み
③バス路線の適正配置、利用促進	- 市内交通路線および郊外交通路線の交通体系整備 - 地域間交通路線の適正な運行
④女満別空港の機能充実、利用促進	- 航空ネットワークの充実強化 - LCC 等の新規路線の誘致 - 空港機能施設および外国人観光客受け入れ体制などの強化 - 地域活性化につながる二次交通の充実

関連する個別計画

- 網走市都市計画マスタープラン
- 網走市地域公共交通総合連携計画

LCC --- 低コスト運営で、安い運賃を提供する航空会社。「ローコストキャリア」

目標 1

一人ひとりを大切に
やさしいまち

目標 2

豊かな自然と共生する
安心なまち

目標 3

ひとが集いにぎわいと
活力を生むまち

目標 4

豊かなひとを育むまち

目標 5

ともに歩み、
築く協働のまち

目標1
一人ひとりを大切に
やさしいまち

目標2
豊かな自然と共生する
安心なまち

目標3
ひとが集いにぎわいと
活力を生むまち

目標4
豊かなひとを育むまち

目標5
ともに歩み、
築く協働のまち

都市基盤 ④ 通信

現状と課題

ICTの進展は、ライフスタイルにおいて、コミュニケーション、情報収集、購買、余暇、就労など、さまざまな分野で変化をもたらし、一方で、トラブルや犯罪など社会的課題も抱えています。

さらに、ビッグデータ、AI、IoT、ロボットなどとの組み合わせにより、生産、販売、消費といった経済活動のほか、健康、医療などの幅広い分野で影響を与えると考えられています。

また、光ファイバーなどブロードバンドの整備が進められていますが、未整備地区の解消が課題となっているほか、Wi-Fi環境の充実が求められています。

基本方針

市民や網走を訪れる方へ利便性の高い通信環境の提供を進め、快適なまちを目指します。

施策の展開

施策の区分	施策の内容
①高速・大容量の通信基盤の整備	▪ 光ファイバー網などブロードバンド基盤の整備促進
②通信網の整備、活用	▪ 住民利便性向上の推進
③Wi-Fi環境の充実	▪ 公衆無線 LAN の環境整備

ICT----- 情報・通信に関する技術の総称。「情報通信技術」

ビッグデータ---- インターネット上で収集、分析できるようになった膨大なデータ

AI----- 人工知能。人間の知的活動の一部をコンピュータによって実現すること

IoT----- 色々なものがインターネットとつながることで利便性を高めた使い方ができること

ブロードバンド-- 高速で大容量の情報が送受信できる通信網。広帯域通信網

Wi-Fi----- パソコンやスマホなどを、無線でインターネットにつなぐことのできる技術

生活安全

① 防災・減災

現状と課題

近年、国内外で大規模な自然災害が発生しており、市民の安全・安心に対する意識が高まっています。

災害を未然に防ぎ、災害に備え、災害発生時には迅速に対応できるよう、ハード面、ソフト面の両面から防災体制を強化することが重要になっています。

また、東日本大震災や熊本地震などの大規模災害の教訓から、「自助・共助・公助」が密接に連携することが重要であり、公助による防災対策の推進はもとより、「自分のことは自分で守る」（自助）と「自分たちの地域は自分たちで守る」（共助）の意識の向上と体制の構築により、地域防災力を高めることが求められています。

さらに、自然災害以外にも、大規模事故、国民保護法で想定される武力攻撃事態なども含め、さまざまな事案に対応した、危機管理体制づくりが求められています。

基本方針

災害を未然に防ぎ備える、災害に強い、安全・安心なまちを目指します。

施策の展開

施策の区分	施策の内容
①防災・減災に向けた環境整備	- 災害に備えた公共施設等の整備の推進 - 避難所の環境整備と災害用備蓄品の充実 - 防災情報発信体制の充実 - 防災ガイドブック、ハザードマップなどによる防災意識の啓発
②災害に強い体制づくり	- 災害時要配慮者への支援体制の充実 - ボランティア協力体制の整備推進 - 自主防災組織の相互協力体制の推進 国、道、民間組織との連携による防災・減災体制の強化
③地域防災力の向上	- 自主防災組織の活動促進 - 防災訓練、研修による防災意識の向上 - 地域による避難所運営体制の構築 - 地域における防災のリーダー役となる人材の育成

関連する個別計画

● 網走市地域防災計画 ● 網走市国民保護計画 ● 網走市公共施設等総合管理計画

公共施設等 ――― 庁舎、学校など構築物と道路、橋梁、上下水道などインフラを合わせたもの

ハザードマップ ― 予測される災害の発生地点や被害の範囲、避難場所などを示した地図

災害時要配慮者 ― 高齢者、障がい者、乳幼児等の防災施策において特に配慮を要する方

目標 1

一人ひとりを大切に
やさしいまち

目標 2

豊かな自然と共生する
安心なまち

目標 3

ひとが集いにぎわいと
活力を生むまち

目標 4

豊かなひとを育むまち

目標 5

ともに歩み、
築く協働のまち

生活安全

② 消防

現状と課題

近年、多発する自然災害や人口減少・少子高齢化の進展に伴い、多様化する消防需要に対して、総合的な消防力の向上による迅速かつ的確な対応が求められています。

また、市民、団体等に対する防火・防災意識の啓発により、火災を未然に防ぐとともに、自然災害に対する備えの強化が求められています。

さらに、地域の防火・防災を担う消防団の役割はますます重要となり、その機能の充実や体制の強化が求められています。

基本方針

市民一人ひとりの防火・防災意識の高揚を図りながら、火災や自然災害などへの対応力を強化し、安全・安心なまちを目指します。

施策の展開

施策の区分	施策の内容
①消防力・機能の充実	常備消防体制の充実
②防火・防災意識の啓発	- 防火、防災意識の啓発活動の充実 - 市民の自主的な防災活動の参加推進
③地域における防災体制の推進	消防団の体制、機能の強化

関連する個別計画

- 網走市地域防災計画
- 網走地区消防組合消防計画
- 網走地区消防組合緊急消防援助隊受援計画
- 網走地区消防組合消防団充実強化計画
- 網走地区消防組合公共施設等総合管理計画

生活安全

③ 生活安全

現状と課題

犯罪件数は減少傾向にありますが、社会全体では凶悪犯罪や特殊詐欺が発生し、犯罪手段も多様化しています。

交通事故についても減少傾向にありますが、若者、女性、高齢者の運転による事故割合が高い状況にあります。

消費生活においては、高齢者が悪質商法、振り込め詐欺など、特殊詐欺の被害に遭う事例のほか、インターネット環境の普及により、悪質サイトによる被害が発生しています。

防犯活動および交通安全運動に対する市民意識の向上を図るとともに、悪質商法など消費者被害の未然防止に取り組む必要があります。

基本方針

防犯、交通安全および消費生活に対する意識を高め、地域や関係団体との連携を強めながら、犯罪や交通事故のない、安全・安心なまちを目指します。

施策の展開

施策の区分	施策の内容
①防犯の推進	▪ 地域における防犯活動の推進、強化 ▪ 関係団体と連携した啓発活動等の推進
②交通安全の推進	▪ 子どもと高齢者への交通安全教室の充実 ▪ 交通安全啓発活動の推進 ▪ 交通安全運動の推進
③消費生活の推進	▪ 消費生活相談、情報提供の充実 ▪ 関係機関、団体等と連携した啓発活動等の推進

関連する個別計画

- 網走市交通安全計画

目標 1

一人ひとりを大切に
やさしいまち

目標 2

豊かな自然と共生する
安心なまち

目標 3

ひとが集いにぎわいと
活力を生むまち

目標 4

豊かなひとを育むまち

目標 5

ともに歩み、
築く協働のまち

目標1
一人ひとりを大切にする
やさしいまち

目標2
豊かな自然と共生する
安心なまち

目標3
ひとが集いにぎわいと
活力を生むまち

目標4
豊かなひとを育むまち

目標5
ともに歩み、
築く協働のまち

環境

① 自然環境、景観形成

現状と課題

オホーツク海、網走川、5つの湖沼、名勝・天都山、能取岬など、水と緑が織りなす豊かな自然環境と美しい景観に包まれています。豊かな自然環境は、生活にやすらぎやうるおいを与える貴重な財産です。

地球温暖化の進行により、近年の異常気象や猛暑日の増加など、さまざまなリスクが高まる中、自然環境の適切な保全や賢明な利用に努め、次代に継承することは、今を生きる私たちの責務と言えます。

そのためには、市民のほか、団体、企業などの自然環境に対する意識高揚が欠かせません。

環境教育の充実や、産業における環境保全の推進など、自然環境や景観に配慮した、自然と共生するまちづくりが求められます。

基本方針

自然環境の保全と賢明な利用を図り、人と自然が共生するまちを目指します。

施策の展開

施策の区分	施策の内容
①自然環境の適切な保全	- 自然環境の保全と賢明な利用に向けた意識啓発 - 森林環境の保全と育成 - 多様な生態系の保全
②環境教育・学習の充実	- 環境問題の意識向上啓発 - 環境教育、学習拠点、学習機会の充実 - 地球温暖化防止対策の普及啓発、推進
③環境保全型産業の推進	環境に配慮した産業の推進
④環境美化の推進	- 市民参加による清掃活動の推進 - ポイ捨てしないきれいなまちづくりの推進

関連する個別計画

- 網走市環境基本計画
- 網走市役所地球温暖化対策実行計画
- 濤沸湖環境保全活用ビジョン

環 境

② 生活環境

現状と課題

人の暮らしや産業活動に起因して、油の流出、悪臭、騒音、振動など、生活環境に関わるさまざまな課題が発生します。

豊かで美しい自然環境に暮らす私たちには、こうした課題の未然防止に努めるとともに、事故などの発生時には、迅速な対応によりその影響を最小限にとどめるなど、大気環境や水環境などの保全に取り組むことが求められます。

基本方針

美しい自然環境を公害から守り、安心でうるおいのあるまちを目指します。

施策の展開

施策の区分	施策の内容
①生活環境の保全	- 生活環境に対する意識の向上啓発 - 大気環境の保全 - 水環境の保全
②生活環境の汚染の防止	- 排水対策の推進 - 有害物質の発生抑制 - 騒音と振動の防止対策
③生活環境の汚染の監視、対応	- パトロールの強化と環境汚染防止の啓発 - 汚染の実態調査と指導

関連する個別計画

- 網走市環境基本計画

目標 1

一人ひとりを大切に
やさしいまち

目標 2

豊かな自然と共生する
安心なまち

目標 3

ひとが集いにぎわいと
活力を生むまち

目標 4

豊かなひとを育むまち

目標 5

ともに歩み、
築く協働のまち

目標1
一人ひとりを大切に
やさしいまち

目標2
豊かな自然と共生する
安心なまち

目標3
ひとが集いにぎわいと
活力を生むまち

目標4
豊かなひとを育むまち

目標5
ともに歩み、
築く協働のまち

環境

③ 資源循環

現状と課題

地球温暖化の進行による異常気象の頻発や新興国のエネルギー需要の増大など、環境に負荷の少ない再生可能エネルギーの導入や省エネルギー対策の重要性が一層高まっています。

また、ごみ処理では、減量化やりサイクルなど、限りある資源の有効活用が求められています。

次世代へ良好な環境を引き継ぐためにも、環境に負荷の少ない循環型社会の形成が求められています。

基本方針

限りある資源を大切にし、有効活用する資源循環型社会を目指します。

施策の展開

施策の区分	施策の内容
①資源循環システムの構築	- ごみの減量化の推進 - 再利用、再資源化の促進 - ごみ・資源物の分別意識の向上 - 埋め立てごみ減量化の推進
②省エネルギーの推進	- 無駄なエネルギー消費の削減に関する啓発 - エネルギー負荷の少ない商品を選択するための啓発
③クリーンエネルギー利用の推進	- クリーンエネルギーに関する啓発 - 地域性を活かしたエネルギー利用の推進

関連する個別計画

- 網走市一般廃棄物処理基本計画
- 網走市環境基本計画

再生可能エネルギー ― 一度利用しても再生可能な、枯渇しないエネルギー資源

クリーンエネルギー ― 電気、熱などに変えても二酸化炭素、窒素酸化物などの有害物質を排出しない、または少ないエネルギー

生活基盤

① 住宅・宅地

現状と課題

人口減少・少子高齢化の進展は、高齢者世帯、単身世帯の増加につながり、空き家問題が生じるなど、住環境にさまざまな変化をもたらします。

高齢者世帯、子育て世帯、障がい者世帯など、さまざまな世帯構成に応じた住宅施策が求められており、誰にもやさしいユニバーサルデザインの推進のほか、深刻な地球温暖化の問題から、低炭素住宅の推進が求められています。

また、コンパクトシティの概念や、それぞれの生活スタイルに応じたエリア別の住環境の提供が必要となっています。

基本方針

豊かな自然と調和した快適な住環境を目指します。

施策の展開

施策の区分	施策の内容
①快適な住環境の整備	■ ユニバーサルデザインの普及啓発 ■ 安全、快適な住環境の整備促進 ■ 住み替えなど多様な世帯に対応する住環境の整備促進
②環境に配慮した住環境づくり	■ 省エネ住宅の普及促進 ■ 環境と共生する住環境づくりの推進
③住宅ストックの有効活用	■ 空き家バンクの整備、充実 ■ 住宅関連事業者との連携強化 ■ 住宅ストックの長寿命化

関連する個別計画

- 網走市住生活基本計画
- 網走市公営住宅等長寿命化計画
- 網走市住宅供給計画

ユニバーサルデザイン --- 年齢、性別、障がいの有無などにかかわらず、誰にでも使いやすいデザイン

目標 1

一人ひとりを大切に
やさしいまち

目標 2

豊かな自然と共生する
安心なまち

目標 3

ひとが集いにぎわいと
活力を生むまち

目標 4

豊かなひとを育むまち

目標 5

ともに歩み、
築く協働のまち

目標1
一人ひとりを大切に
やさしいまち

目標2
豊かな自然と共生する
安心なまち

目標3
ひとが集いにぎわいと
活力を生むまち

目標4
豊かなひとを育むまち

目標5
ともに歩み、
築く協働のまち

生活基盤 ② 上水道

現状と課題

上水道施設は、市民生活や経済活動において欠くことができない大切なライフラインであり、安全で美味しい水を安定的に供給することが重要です。

また、人口減少・少子高齢化により収益の減少が見込まれる中、施設の老朽化対策に取り組むことが必要となるため、効率的で健全な経営が求められます。

さらに、自然災害などの災害リスクの高まりから、災害時に備えた危機管理体制の強化も必要となっています。

基本方針

安全で安心な水道水の供給と健全な経営を目指します。

施策の展開

施策の区分	施策の内容
①水道システムの安定性向上	▪ 水源の保全 ▪ 水質管理の徹底 ▪ 配水圧の適正化
②災害対策の推進	▪ 施設の耐震化 ▪ 漏水対策、災害対策の整備と強化
③健全な経営	▪ 住民ニーズの把握と対応 ▪ 老朽施設の更新 ▪ 経営の効率化 ▪ 水道技術の向上と継承

関連する個別計画

- 網走市水道ビジョン

ライフライン — 電気、ガス、上下水道、交通、通信など市民生活の基盤

生活基盤

③ 生活排水処理

現状と課題

下水道施設は、河川や湖沼などの水環境の保全と快適で衛生的な生活環境に欠くことができない大切なライフラインです。

また、人口減少・少子高齢化により、収益の減少が見込まれる中、施設の老朽化対策に取り組むことが必要となるため、下水道汚泥を活用した発電事業など資源の有効活用も含め、効率的で健全な経営が求められます。

さらに、自然災害などの災害リスクの高まりから、災害時に備えた危機管理体制の強化も必要となっています。

基本方針

快適で衛生的な生活環境を実現し、水環境を守るとともに健全な経営を目指します。

施策の展開

施策の区分	施策の内容
①持続的な下水道サービスの提供	■ 下水道施設の整備 ■ 雨水、污水管渠の整備 ■ 災害対策の充実
②健全な経営	■ 経営の効率化 ■ 計画的、効率的な維持管理、整備の推進
③下水汚泥・消化ガスの有効活用	■ 下水汚泥堆肥の試験研究、利用促進 ■ 下水汚泥消化ガスを利用した発電事業の実施
④個別排水処理施設の普及促進	■ 個別排水処理施設の整備促進 ■ 個別排水処理施設の効率的な維持管理

関連する個別計画

- 網走市生活排水処理基本計画
- 網走市公共下水道事業計画
- 網走市公共下水道事業特別会計経営健全化計画

目標 1

一人ひとりを大切に
やさしいまち

目標 2

豊かな自然と共生する
安心なまち

目標 3

ひとが集いにぎわいと
活力を生むまち

目標 4

豊かなひとを育むまち

目標 5

ともに歩み、
築く協働のまち

目標1
一人ひとりを大切に
やさしいまち

目標2
豊かな自然と共生する
安心なまち

目標3
ひとが集いにぎわいと
活力を生むまち

目標4
豊かなひとを育むまち

目標5
ともに歩み、
築く協働のまち

生活基盤 ④ 火葬場・墓地

現状と課題

目まぐるしい社会経済情勢の変化や少子高齢化の進展は、ライフスタイルや価値観の変化を生み、ニーズの多様化へとつながっています。
火葬場、墓地についても、利用需要の変化を適切に捉えながら、適切な運営や環境整備が求められています。

基本方針

利用需要の変化に対応しながら、火葬場・墓地の適切な維持管理に努めます。

施策の展開

施策の区分	施策の内容
①火葬場の管理	▪ 火葬場の維持管理および環境美化
②墓地の管理	▪ 墓地の維持管理および環境美化
③合葬墓の管理	▪ 合葬墓の維持管理および環境美化